

地域別の施策の展開方向

1 丹後地域

<地域の環境特性>

- ・日本海の沿岸海域や閉鎖性水域である阿蘇海など里海の水質、生態系、海岸線の景観などの保全が、環境面からだけでなく、観光振興や地域づくりの面からも重要とされている。
- ・日本三景の一つである天橋立をはじめ風光明媚な景観をもつ沿岸部は国定公園や国立公園に指定され、観光資源として活用されている。
- ・内陸部には、和紙や炭等に利用されてきた生活資源林の里山が広がっている。また、棚田と笹葺き民家などが織りなす特色ある景観を持つ集落が形成されているが、過疎化の進行が著しい。
- ・「丹後海と星の見える丘公園」、「丹後上世屋内山自然環境保全地域」、「山陰海岸ジオパーク」など、地域の自然資源を活かして多彩な体験型環境学習を提供できる施設や施策が整いつつある。
- ・太陽光・太陽熱のほか、風力、バイオマス、波力など、多様な再生可能エネルギーを活用した地域づくりや新産業創出の可能性を有している。

■里海・里山・里地など、丹後の自然を守り活かす地域づくり

番号 58
 ・山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟や天橋立の世界文化遺産登録を目指した活動を通じて、丹後地域の自然や生活文化を再発見するとともに、それらを保全、再生、継承、活用する取組を、地域の様々な主体との協働により推進します。

	平成23年度	平成24年度	事業概要及び関連計画等	直近の取組の実績(進捗状況)等	今後の課題等
関連事業	・ジオパーク推進事業	・同左継続	・山陰海岸ジオパーク事業推進のため推進協議会等の活動への支援	・京都駅前PR活動 ・京丹後市域の散策モデルルートの検討	・観光振興への取組支援の展開 【自然環境保課】
	・山陰海岸ジオパーク推進協議会地域連携部会参加	・同左継続	・地域連携部会ワーキンググループの設置 ・山陰海岸ジオパーク保護保全管理計画案の検討	・24年度部会開催回数:3回 ・計画項目の検討 ・保護保全団体の把握	・計画の策定 ・保護保全団体のネットワーク作成 ・保護保全団体の研修会開催 【丹後広域振興局】
	・天橋立世界文化遺産登録推進事業	新・世界遺産事業	・世界文化遺産登録に向けた調査・研究 ・天橋立世界遺産登録可能性検討委員会の開催 ・国際的評価・知名度向上事業	・学識者WG、検討委員会を開催し、文化庁から示された課題に対する研究成果をまとめた研究報告書案について検討。 ・外国語版 映像資料、パンフレットの作成	・天橋立の普遍的価値の証明が必要 ・天橋立の国際的評価・知名度の向上が必要。 【文化芸術振興課】

番号
59

・「丹後海と星の見える丘公園」などを活用し、自然共生・循環型社会システムの体験・学習の場と機会を創出します。

	平成23年度	平成24年度	事業概要及び関連計画等	直近の取組の実績(進捗状況)等	今後の課題等
関連事業	・丹後海と星の見える丘公園指定管理委託	・同左継続	・公園管理者を指定し、公園施設管理と併せて、公園内での環境学習の取組を実施	・環境学習参加者 4,447名(H24.12末)	・環境教育の実践の場としての公園PRを強化し、学習プログラム参加者の増加を図る 【自然環境保全課】
	・小中学生対象の環境学習開催	・同左継続	・丹後の豊かな自然を活用し、出前語らい制度による水棲生物調査等の環境学習を実施	・24年度開催回数:11回	【丹後広域振興局】

番号
60

・海岸漂着ゴミ対策や閉鎖性水域の水質改善・浄化など、里海の環境保全のための対策を推進します。

	平成23年度	平成24年度	事業概要及び関連計画等	直近の取組の実績(進捗状況)等	今後の課題等
関連事業	・海ごみ対策に係る府民啓発の実施	・同左継続	・海ごみサミット2012亀岡保津川会議 ・京都環境フェスティバル	・海ごみサミット2012亀岡保津川会議の開催 ・京都環境フェスティバルにおけるミニステージ開催及びブース出展	・内陸地域における発生抑制 【循環型社会推進課】
	・「阿蘇海環境づくり協働会議(事務局:丹後振興局企画振興室)」に参画	・同左継続	・公共用水域常時監視事業による水質データの把握等		【丹後広域振興局】

61	・NPO等によって取組が進められている廃食油等の再資源化や、冬期の寒冷な気候に適応した住宅の断熱化など地域の特性に適応した温暖化対策を促進します。				
	平成23年度	平成24年度	事業概要及び関連計画等	直近の取組の実績(進捗状況)等	今後の課題等
関連事業	—	・廃食油再資源化を含むバイオマス活用推進計画の策定	・京都府バイオマス活用推進計画	・平成24年12月に推進計画を策定し、廃食油再資源化に係る施策として、「回収拠点の拡大」及び「公共事業におけるBDF使用の仕様特記によるグリーン調達化」等の推進を掲げた。	・回収拠点の拡大 【循環型社会推進課】

■環境を軸にした農林水産業や観光など地域産業の再構築

62	・丹後地域の海、森林、温泉、農作物などの資源を環境学習や健康づくりなどの視点から再評価・活用し、観光産業等と連携させることにより、地域の活性化につなげます。				
	平成23年度	平成24年度	事業概要及び関連計画等	直近の取組の実績(進捗状況)等	今後の課題等
関連事業	—	・TANTANロングライド開催事業(新規)	・TANTANロングライドへの参加者に対するおもてなし事業を実施し、同地域をはじめとする京都府域の誘客につなげ、地域の活性化を推進。	・平成24年6月10日開催 957名参加 ・健康志向・エコ推進の観点から自転車で中丹・丹後地域を周回	【観光課】
	・丹後広域誘客推進事業	・同左継続	・日本海沿岸地域の歴史、伝統、食、自然環境をストーリーで結んで、体感しながら巡るコースを設定し、首都圏メディア等を活用してPRを行うとともに、近隣府県と連携し、JR・KTRを活用した北近畿の広域観光を推進。	・丹後海道物語記事掲載「家庭画報10月号」 ・丹後広域観光キャンペーン協議会、北近畿広域観光連盟での各種取組	【観光課】
	・ビジットKYOTO推進事業	・同左継続	主に訪日観光客が最も重要視されるアジア市場からの観光誘客を推進し、国際観光の振興を図る。	ファミトリップ等の各種取組において、北部の自然景観・温泉等をPRするとともに、近隣府県と連携して広域観光を推進。	【観光課】
	・共に育む「命の里」事業	・同左継続	・過疎・高齢化が進む農山村の再生に取り組む地域連携組織が行う、地域活性化や絆の再生に向けた祭りの復活や都市との交流イベント等の実施	・京丹后市宇川等 33回実施(H24.9末)	・引き続き推進する 【農村振興課】
	・ふるさと・棚田支援事業	・同左継続	・「ふるさと発見隊」などを活用しながら、子供達を対象とした農業・農村の役割や文化、歴史などの学習会や農作業活動を通じて、ふるさと農山村に誇りと愛着を高める取組を実施	・京丹后市大宮町森本等 9回実施(H24.9末)	・引き続き推進する 【農村振興課】

63	<p>・公共事業による木材利用や間伐材による魚礁の設置など、地域産木材の利活用の用途拡大を図り、地域における資源循環システムの形成を目指します。</p>				
	<p>平成23年度</p> <p>・沿岸漁業振興対策事業 (うち原木魚礁設置事業)</p>	<p>平成24年度</p> <p>・同左継続</p>	<p>事業概要及び関連計画等</p> <p>・市町等の実施する木材を使用した小規模漁場造成への補助 (使用する原木の半数以上に間伐材導入を協力要請)</p>	<p>直近の取組の実績(進捗状況)等</p> <p>・H23実績 宮津市450セット(間伐材225セット) 伊根町924セット(間伐材762セット) ・H24実績 京都府漁協370セット(間伐材185セット) 伊根町557セット(間伐材557セット) 〔補助対象事業分のみ〕</p>	<p>今後の課題等</p> <p>・府単独補助事業予算の確保が困難な状況下で事業量が減少、継続のためには新たな事業展開が必要</p> <p>【水産課】</p>

■再生可能エネルギーやバイオマスの活用による新産業の創出

64	<p>・多収穫米を活用したバイオプラスチックの製造など地域に芽生えつつある低炭素型の新産業を育成します。</p>				
	<p>平成23年度</p> <p>・京都産業エコ機構による支援</p>	<p>平成24年度</p> <p>・京都産業エコ・エネルギー機構による支援</p>	<p>事業概要及び関連計画等</p> <p>・「エコ」を切り口に新技術の導入により製造された製品を「京都エコスタイル認定製品」として認定し、その製品について、情報発信、PRとともに販路開拓に繋げる。</p>	<p>直近の取組の実績(進捗状況)等</p> <p>・京丹後市の企業が開発したバイオプラスチック製品(ゴミ袋・クリアファイル・エコうちわ等)をエコスタイル製品として認定し、ビジネスイベントなどで情報発信及びPRを実施。</p>	<p>今後の課題等</p> <p>・単価が割高</p> <p>【環境政策課・ものづくり推進課】</p>

65	<p>・持続可能な社会のモデルとなるエネルギー自立型の地域社会づくりを目指して、再生可能エネルギー産業の創出に向けた取組を支援します。</p>				
	<p>平成23年度</p> <p>・宮津市メタン発酵施設導入調査委員会へ委員参加</p>	<p>平成24年度</p> <p>・宮津市メタン発酵施設導入調査委員会へ委員参加</p>	<p>事業概要及び関連計画等</p> <p>・宮津市がし尿等から得られるバイオガスの発電利用等を検討するための調査委員会に参加</p>	<p>直近の取組の実績(進捗状況)等</p> <p>・24年度委員会開催回数:4回 (12/26委員会閉会)</p>	<p>今後の課題等</p> <p>【丹後広域振興局】</p>
<p>—</p>	<p>・エネルギー自立化対策事業</p>	<p>・中小企業を対象に、太陽光や風力等再生可能エネルギー発電と省エネ設備を組み合せ、系統電力だけに頼らないエネルギー自立化を図る設備導入経費の一部を補助。</p>	<p>・交付決定補助対象者 6社</p>	<p>・再生可能エネルギー発電導入事業者(企業、各種法人等)の普及・拡大</p> <p>【ものづくり推進課】</p>	